

## 6 画面入力が終わったら[登録]ボタンを押します。

この画面にない、さらにすすんだ設定を行う場合には[オプション設定]ボタンを押して設定してください。

## 7 画面入力が終わったら[登録]ボタンを押します。

## 電話機から本機の電話機能を設定する

本機の機能設定は、TELポートに接続した電話機から行うことができます。電話機から[\*] + [#] + [機能番号] + [TELポート番号] + [設定値]の順でダイヤルし、[#]を押すと、本機の電話機能の設定が変更されます。

- MEMO**
- ダイヤルの設定は、必ず電話機をトーン（ブッシュ）に設定して操作してください。パルス（ダイヤル）の設定およびトーンの機能がない電話機では、設定できません（→P.89）。
  - 電話機から設定すると、設定内容は不揮発性メモリに保存されますので、電源が切れても内容は消えません。
  - 外線電話から設定することはできません。

## 電話機から設定する

ここでは、TEL2ポートにダイヤルイン番号"03-1234-9876"を設定する場合を例に操作の手順を説明します。設定できる機能と設定値については、「機能一覧表」（→P.116）をご覧ください。よくある設定例はP.113以降を参照してください。

## 1 受話器をあげます。

発信音が聞こえます。ただし、回線が接続されていないときは、話中音が聞こえます。

## 2 [\*]と[#]を押します。

発信音が止まり、「ツツー、ツツー」という音が聞こえます。



**3 機能番号を押します。**

TEL2ポートにダイヤルイン番号を設定するときは、11を押します。

① ①

**4 TELポート番号を押します。**

TELポート番号は、TEL1=1、TEL2=2、TEL3=3です。TEL2ポートに設定するときは、2を押します。

※ [\*] を押すと今お使いのTELポートに設定されます。

② (TEL2ポートの場合の例)

**5 設定値を押します。**

ダイヤルイン番号"03-1234-9876"を設定するときは、0312349876を押します。

① ③ ① ② ③ ④ ⑨ ⑧ ⑦ ⑥

**6 [#] を押します。**

"ピー"という音が聞こえ、設定が変更されます。設定内容が適切でなかったり、正常に変更されなかったときは、"ピー、ピー"と聞こえますので、設定内容を確認してから、もう一度手順3から操作してください。

③

**7 受話器を置きます。**

続けて設定するときは、受話器をあげたまま手順3~6の操作を繰り返します。

**設定例1:ダイヤルイン番号を設定する**

TEL2ポートのダイヤルイン番号を"03-1234-9876"にする場合の手順。

オフフック→\* ③ ① ② ③ ④ ⑨ ⑧ ⑦ ⑥ ③

**設定例2:サブアドレスを設定する**

TEL1ポートのサブアドレスを"123"にする場合の手順。

オフフック→\* ③ ① ② ① ① ② ③ ③

**設定例3:アナログポートを使用制限する**

TEL3ポートに何も接続しない場合の手順。

オフフック→\* ③ ① ④ ③ ① ③

**設定例4:フレックスホンを設定する**

NTTのコールウェイティングを使用する場合の手順。

オフフック→\* ③ ⑤ ② ① ③

NTTの通信中転送を使用する場合の手順。

オフフック→\* ③ ⑤ ③ ① ③

NTTの三者通話を使用する場合の手順。

オフフック→\* ③ ⑤ ④ ① ③

TEL2ポートでNTTの着信転送を使用する場合の手順。

(転送先アドレスは"03-1234-9876"、1回コール後に転送)

オフフック→\* ③ ⑤ ⑤ ② ① ③  
⑤ ⑥ ② ① ③ ① ② ③ ④ ⑨ ⑧ ⑦ ⑥ ③  
⑤ ⑧ ② ① ③

**設定例5: 話中着信の設定**

TEL1 ポートで話中着信を許可する場合の手順。

オフフック→ \* # 3 6 1 1 #

**設定例6: フッキング判定時間を設定する**

TEL1 ポートのフッキング判定時間を1.2秒に設定する場合の手順。

オフフック→ \* # 4 2 1 1 2 #

**設定例7: 識別着信を設定する**

03-1234-9876 から TEL 3 ポートへの着信を拒否する場合の手順。

オフフック→ \* # 3 2 3 2 #  
3 3 3 0 3 1 2 3 4 9 8 7 6 #**設定例8: ナンバーディスプレイ対応に設定する**

TEL3 ポートをナンバーディスプレイ対応にする場合の手順。

オフフック→ \* # 3 9 3 1 #

**設定例9: RVS-COM着信拒否に設定する**

オフフック→ \* # 6 4 0 #

**設定例10: パスワードを変更する**

パスワード"123"を"69"に変更する場合の手順。

オフフック→ \* # 0 0 1 2 3 \*  
6 9 \* 6 9 #**設定例11: IPアドレスとネットマスクを新規設定する**

IPアドレスを"192.168.10.1"、ネットマスクを"255.255.255.0" (24ビット)に新規に設定する場合の手順。

オフフック→ \* # 7 1 1 9 2 \* 1 6 8  
\* 1 0 \* 1 #  
7 2 2 5 5 \* 2 5 5 \* 2 5 5  
\* 0 #**MEMO** ● IPアドレスを変更する場合には、「IPアドレスを新規設定・変更する」(→P.152)の注意事項にご注意ください。

■機能一覧表

機能	機能番号	設定値	初期設定値
TELポートのダイヤル番号設定	11	回線番号またはダイヤルイン番号	番号なし
TELポートのサブアドレス設定	12	サブアドレス	番号なし
通信機器の種類設定	13	0=指定なし 1=電話 2=FAX (G2/G3)	0
アナログポート使用制限の設定	14	0=使用しない 1=発信のみ 2=着信のみ 3=発信・着信可能	3
発信者番号通知	21	0=通知しない 1=通知する	0
即時発信	22	0=使用しない 1=使用する	1
グローバル着信	31	0=しない 1=する	1
識別着信	32	0=しない 1=一致時着信 2=一致時拒否	2
識別着信の番号登録	33	識別する電話番号	番号なし
サブアドレスなしの着信	34	0=拒否 1=許可	1
通信機器種別指定の着信	35	0=拒否 1=許可	1
話中着信	36	0=拒否 1=許可	0
優先着信ポート	37	1=優先順位1位 2=優先順位2位 3=優先順位3位	2
着信ベル設定	38	着信ベル番号 1=パターン1 2=パターン2 回線番号またはダイヤルイン番号	番号なし
ナンバーディスプレイ機能	39	0=使用しない 1=使用する	0
ダイヤル桁の間隔設定(秒)	41	1~59	4
フッキング判定時間(1/10秒)	42	5~20	10
フッキング後の操作有効時間(秒)	43	1~9	4
フッキング,オンフック無効時間(秒)	44	1~3 0=全て有効	0
疑似切断信号の設定	45	0=送出不しい 1=送出する	1

機能	機能番号	設定値	初期設定値
コールウェイトニング機能	52	—	0=使用しない 1=フレックスホン 2=擬似 2
通信中転送機能	53	—	0=使用しない 1=フレックスホン 2=擬似 0
三者通話機能	54	—	0=使用しない 1=フレックスホン 2=擬似 0
着信転送機能	55	—	0=使用しない 1=フレックスホン 2=擬似 0
着信転送先番号登録	56	TELポート番号	転送先番号 番号なし
着信転送トーク設定	57	TELポート番号	0=なし 1=転送先のみ 2=転送元のみ 3=あり 0
着信転送起動タイミング設定	58	1=TEL1	0=無音転送 1~10=コール数 0
着信転送失敗時の動作設定	59	2=TEL2 3=TEL3	0=話中音 1=着信ベル 1
送話PADの音量設定	61	(0=SERIAL)	0=PADなし 1=-3dB 2=-6dB 3=-9dB 0
受話PADの音量設定	62	(0=SERIAL)	0=PADなし 1=-3dB 2=-6dB 3=-9dB 0
DTMF検出レベル	63	—	0~30 18
RVS-COM着信許可	64	—	0=拒否 1=許可 1
アナログ呼出時間	65	—	0=呼び出さない 5~160=秒数 15
LAN側のルータIPアドレス設定	71	IPアドレス	192*168*0*1
LAN側のネットマスク設定	72	ネットマスク	255*255*255*0
BODの設定	73	—	0=使用しない 1=使用する 1
アナログポート設定の消去	91	TELポート番号	—
識別着信の番号削除	92	1=TEL1	登録済みの電話番号 —
着信ベルの番号削除	93	2=TEL2	着信ベル番号   登録電話番号 —
料金情報の消去	94	3=TEL3	—
アナログポート設定の全消去	99	—	—
パスワードの設定	00	[旧パスワード]*[新パスワード]*[新パスワード]	—